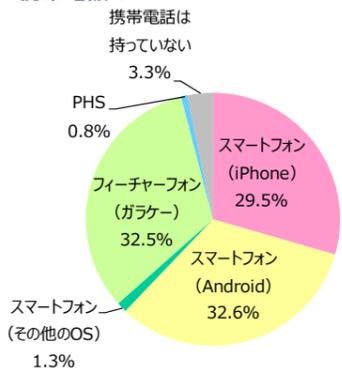


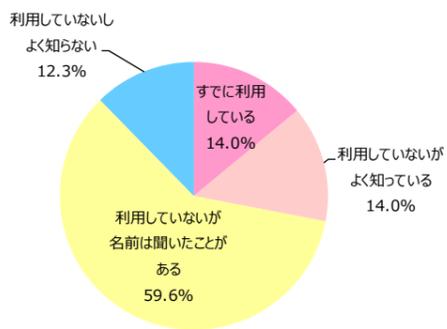
01 Woman's Trend

8割近くの人が格安スマホに興味あり。特に20~30代は8割強に 通信費、気持ちの上での妥当ラインは月額4000円未満!?

Q. あなたがメインで使っている携帯電話は?

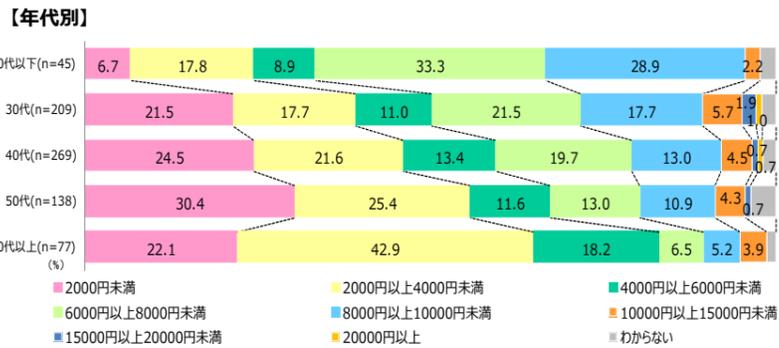


Q. 格安スマホを知ってますか?

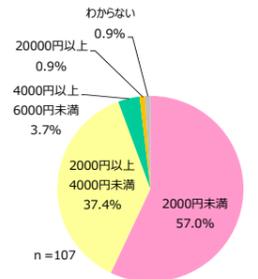


2016. 9. 8~9. 11 女性を対象にWEB調査 (n=763)

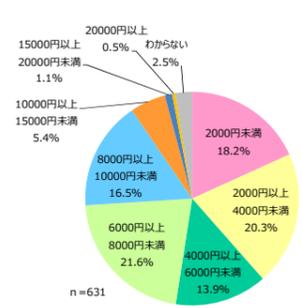
Q. 月々の利用料金(端末代込)は?



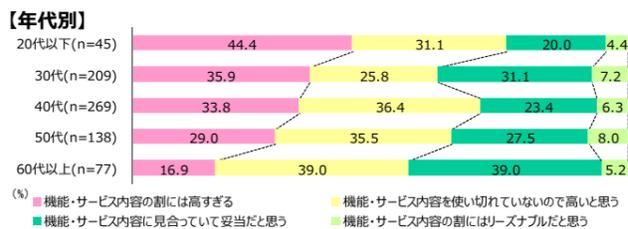
【格安スマホ利用者】



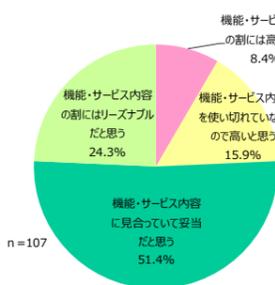
【格安スマホ非利用者】



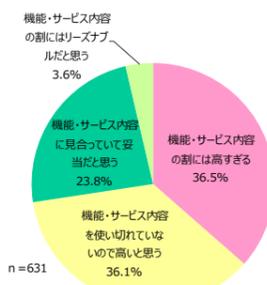
Q. 月々の利用料金は見合っていると思う?



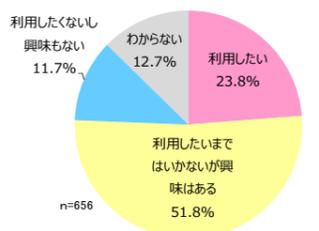
【格安スマホ利用者】



【格安スマホ非利用者】



Q. 将来的に格安スマホを利用したい?



インフラ系の企業がこぞって参入し、格安スマホの競争は過熱気味だ。女性たちは格安スマホに興味があるのか確認してみた。

まず、今使っているのはスマホという人が6割以上。年代別のスマホ率は、20代が9割、30代で8割弱、40代で6割、50代で5割、60代以上で3割強といった普及度合だ。

格安スマホの認知度合は名前を知っている程度がよく知らない人が7割以上。これは年代による差異はそれほどない。格安スマホを既に利用している人は14%。利用者は30代が17.4%、20代が14.9%、よく知っていると言った人も20~30代が多く、賢く使いこなしているのは若年層だ。

端末代込の利用料金月額を聞くと、年代別に大きな差異が出た。20代は6000円~1万円以上で6割、30代では最もばらけて1万円以上の人でも1割近くいる。50代に入ると4000円未満が半数以上になり、年代が上がるにつれて利用料

はそもそも少ない人が多くなる。因みに格安スマホ利用者は当然ながら4000円未満の人が9割以上。

この料金が機能やサービスに見合っていると思っていない人は50代以下で半数以上に上る。使いこなしているからこそ高いと思う人はやはり若年層ほど多く、使い切れていないので高いと思っているのは40~50代だ。これを格安スマホ利用者に絞ると、料金は妥当という人が3/4。月額4000円未満というのが、通信費の妥当ラインということか。非利用者のうち、使い切れていないので高いと思っている36%は、格安スマホへの切り替え需要層と言っていいたいだろう。

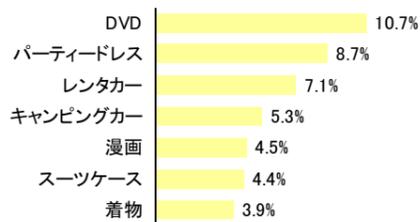
将来的な利用を考える人は3/4に上り、特に40代以下で、具体的に興味を持つ人が多い。不安要素は通信速度など環境と手続きの面倒さ。災害時の通信機能に不安を持つ人も多くPRが必要だ。(所長/植田奈保子)

02 Woman's Data

【女性のキモチ】 女性のレンタル需要上位にパーティードレス

全国女性が今後最も利用してみたいレンタルサービスベスト5はDVD、パーティードレス、レンタカー、キャンピングカー、漫画の順。特に20代に割合が高いパーティードレスには「ドレスは買うと高い上に着る機会が少ない」「同じドレスばかりも着られないから」、キャンピングカーには「高くて自分では買えないけど子どもの頃から憧れていた」「リタイア後、夫婦で日本中を旅したい」などの声だ。

【今後、最も利用してみたい、興味のあるレンタルサービス(上位7位を表記) n=749】

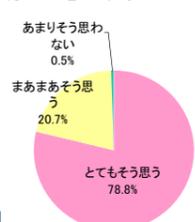


2016. 9. 14~9. 19 全国の女性を対象にWEB調査リビングくらしHOW研究所調べ

【園児ママのキモチ】 行事を楽しむことは子どもの成長に大切

秋冬はハロウィーンやクリスマス、お正月など、楽しい行事が目白押し。幼稚園児や保育園児のママに、「行事を家で楽しむことは子どもの成長に大切だと思うか?」と聞いたところ、約8割のママが「とても思う」と回答。行事食を作ったり、部屋を飾ったり、パーティーの様子を写真に残したり、様々な方法で子どもと行事を楽しんでいる。

【行事を家で楽しむことは、子どもの成長や教育のために大切だと思いますか? n=551】



2016. 8. 24~9. 11 幼稚園や保育園に通う子どもがいる女性を対象にWEB調査

03 Group Eyes

女性の口コミパワーの現代版 総勢177人の読者ブロガーが大活躍

サンケイリビング新聞社が発行する3大ネットワークメディア「リビング新聞」「シティリビング」「あんふあん」は、本紙(誌)とWeb、リアルな女性組織の三位一体で展開していることに特徴がある。



「あんふあん」の皆さん

今回はその中の女性組織をご紹介します。組織

にはさらに様々な属性のグループが存在するが、自ら情報を発信できるリテラシーの高い女性ブロガー組織「リビングメイト」「シテイメイト」「あんふあんメイト」は、それぞれ各メディアと紐づいたWeb上で自らが発掘した地域情報や生活ノウハウ等を盛んに発信している。3媒体の公式ブロガーは総勢177人にのぼり、最近では工場見学に関するコメンテーターとしてテレビ等他メディアに登場するメイトも出てくるほど。このように読者が発信者とな

◆読者ブロガー組織

リビングメイト	首都圏・関西	26人
シテイメイト	8エリア	90人
あんふあんメイト	首都圏・関西・他エリア・海外	61人

りさらに情報拡散していくモデルは、リビングが創刊時から標榜している女性の口コミパワーの現代版にほかならない。

(サンケイリビング新聞社CC室)